

自分たちが住む場所を、自分たちの手で—— 町内会による自主的な除染活動を実施

保原町 市柳第4町内会

9月下旬、保原町の市柳第4町内会で、33世帯が参加して、それぞれの世帯を自主的に除染作業を実施しました。除染作業は、まず、放射線量測定器で、線量の高い場所(ホットスポット)を探し、放射性物質を含んだ土・落ち葉の除去。除去物は、土のう袋に小分けにし、各世帯ごとに密封性のあるプラスチックドラム缶「除染太助」に格納、敷地内に仮置きします。

町内会長の立花成哲さんと副町内会長の石田康生さんに話を伺いました。「ある程度のことは、自分の住んでいる地域は自分たちの手で面倒を見なければならぬと感じています。今回の除染活動も、自分で行うと安心感が違いました。職員の説明を受けて、徐々に放射線に対する知識が増え、不必要に怖がるなくなりました。」

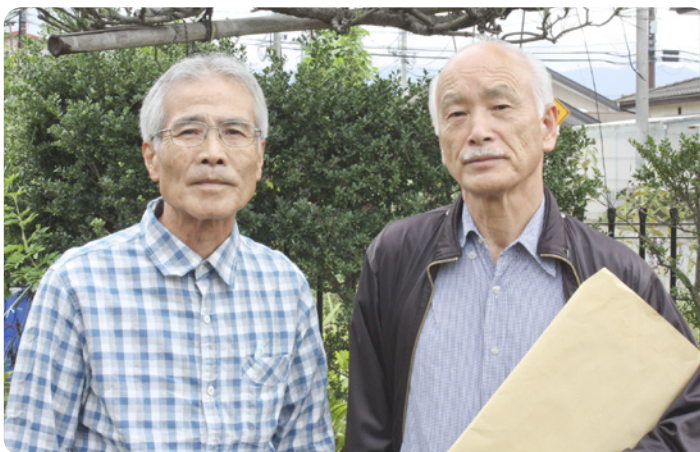
同じく今回除染に参加された松澤伸策さんも意識が変化した一人。「(放射線量が)高いところと低いところがあって、高いところをちょっと

どかせばいいのだとわかったら、じゃあやってみようかな、という気になりました。」

一日も早く安心して暮らせるように、自主的な除染活動をされる際はお気軽にご相談ください。



放射線量を測定する推進センター職員。
除染活動の際はお気軽にご相談ください。



市柳第4町内会、会長の立花成哲さん(写真右)と副会長の石田康生さん(写真左)。「問題を放り出すより、町内会でお手伝い出来ることがあれば…と思っています。」



除去物はプラスチックドラム缶「除染太助」に格納します。蓋をしめると、密封効果があり、十分な耐性があります。



今回の除染活動風景。
放射線測定器で計測しながら、土や落ち葉を除去します。

仮置場等説明会 実施状況

●Aエリア

保原町富成12区

●開催日／9月29日(土)
●会場／会長宅

霊山町田沢地区

●開催日／10月1日(月)
●会場／田沢地区集会所

保原町富成6区

●開催日／10月5日(金)
●会場／富成公民館

保原町中森・上ノ寺地区

●開催日／9月29日(土)
●会場／高野集会所

保原町平地区

●開催日／10月1日(月)
●会場／平公民館

保原町根子屋地区

●開催日／10月5日(金)
●会場／所沢集会所

霊山町掛田地区行政区

●開催日／9月30日(日)
●会場／霊山中央公民館

保原町所沢地区

●開催日／10月3日(水)
●会場／所沢集会所

●Bエリア

霊山町中川地区

●開催日／9月28日(金)
●会場／中川集落センター

月舘町糠田地区

●開催日／10月3日(水)
●会場／糠田第2集会所

●Cエリア

梁川町堰本地区

●開催日／9月27日(木)
●会場／堰本ふれあいセンター

梁川町白根地区

●開催日／10月9日(火)
●会場／農業構造改善センター

梁川町山舟生地区

●開催日／10月10日(水)
●会場／林業構造改善センター

●リスクコミュニケーション

箱南地域づくりの会

●開催日／10月4日(木)
●会場／下小国仮置場ほか

箱沖町内会(伊達)

●開催日／10月7日(日)
●会場／箱沖集会所

自家用農産物のモニタリング調査結果掲載紙移動のお知らせ

今回の除染推進センターだよりから、「自家用農産物のモニタリング調査結果」が、10月11日発行の「伊達市農業情報紙『耕』」へ移動しました。

除染推進センターは保原・伊達・梁川・霊山・月舘の5カ所に開設しております。どうぞお気軽にご相談ください。

除染

HOW

TO

自主的に除染をするには、どうしたらいいんだろう？ まだまだわからないことがたくさん！
このコーナーでは、除染に必要な工程をひとつずつ解説していきます。

使ってみよう！放射線測定器

伊達市では昨年の3月に各町内会へ携帯型放射線測定器を配布しました。
今回は、こちらをぜひともご活用いただくために使用方法をご紹介します。

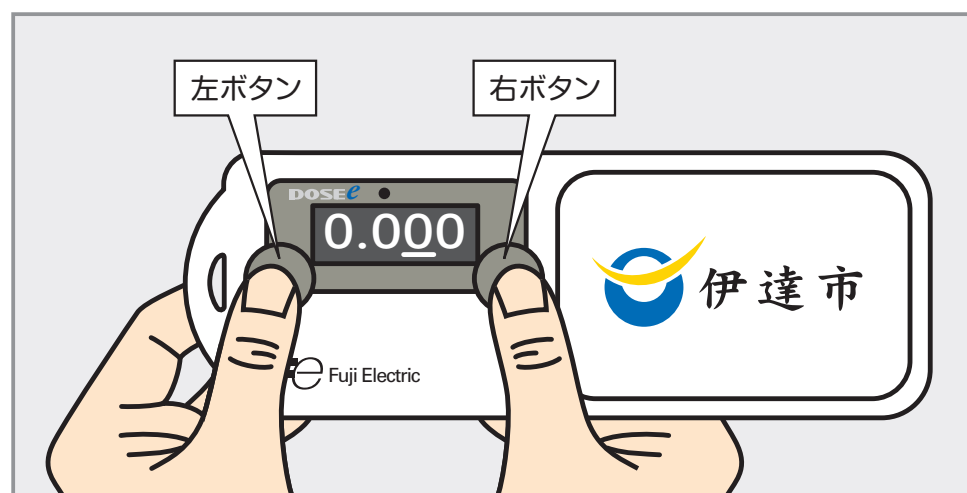


取り扱い方法

1 起動

電池がなくなった
場合に行ってください

- ①箱から出す。
- ②まず最初に充電器に載せ1分程度充電しながら、
その充電器に載せたまま、
左ボタン($\mu\text{Sv}/\text{h}$)と右ボタン(mSv)を、
同時に5秒間押してください。
- ③すると、本体に電源が入り、
LEDが橙色に点滅します。
- ④この後、そのまま充電器に載せ
5時間程度充電してください。



2 測定

- ①周囲の1時間あたりの放射線量は
左ボタン($\mu\text{Sv}/\text{h}$)を押すと、数値で表示されます。
通常はこの1時間あたりの放射線量を測定します。
- ②はじめて起動した時からの積算放射線量は
右ボタン(mSv)を押すと数値で表示されます。
- ③積算放射線量をメモしておく、
次回測定した数値から引くことにより、
その期間の被爆量がわかります。
- ④測定終了後、右ボタンまたは左ボタンを押して
表示を消灯してください。
- ⑤表示が消えても、本体では、
引き続き放射線量の測定を行っています。

※表示が消えた状態でも、放射線量の測定をおこなっています。
測定中は、LEDランプが緑色に点滅します。



3 充電

- ①電池マークが表示されたら、5時間以内に充電してください。
- ②LEDが緑に点滅したら完了です。
- ③満充電で約30時間使用できます。

詳しい使用方法是、同封の取扱説明書をご覧ください。

知ってみよう 聞いてみよう 行ってみよう 除染推進センター

開設以来、たくさんのご相談や質問が寄せられています。前号に引き続き、自発的な除染の疑問にお答えします。

Q 宅地を
除染したいけど、
敷地が狭くて
仮置きできない場合、
どうするの？



A 市では、「除染太助」と呼ばれている密封性のあるプラスチック製ドラム缶を
希望する世帯に貸与することとしました。

除染太助を希望される方はお名前と現住所を記載していただきますので、現住所
が確認出来るものをお持ちの上、除染推進センターで手続きをお願いします。詳細
は、除染推進センターにお問い合わせください。

●除染太助

外寸…………… $\phi 588 \times 883 \text{mm}$
開口部内径…………… $\phi 522 \text{mm}$

重量……………12.0kg
内容量……………200リットル



除去物の管理方法に関するご相談や、除染で使用する消耗品の支給は除染推進センターまでお気軽にご相談ください。

●伊達市除染推進センター(保原町) …… ☎575-1124 ●伊達地域除染推進センター(伊達町) …… ☎583-5508 ●梁川地域除染推進センター(梁川町) …… ☎577-1111 ●霊山地域除染推進センター(霊山町) …… ☎586-3401 ●月舘地域除染推進センター(月舘町) …… ☎572-2111

除染推進センターは保原・伊達・梁川・霊山・月舘の5カ所に開設しております。どうぞお気軽にご相談ください。